



# セフレと...4



新婚ラブラブのふたりの元に...

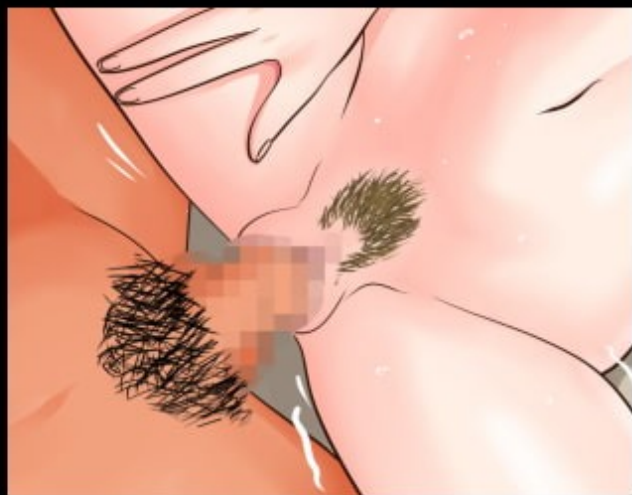


突如義姉がやってきた！



初恋の人、そして初体験の相手だった義姉に  
誘惑され、遂に一線を越える事に…





※陰毛有無差分あり



お好みの方を鑑賞できます



村夫子2019

# セフレと…4

妻の姉がセックスフレンド





あ...♡

ああん、お兄ちゃあん、  
きもちいいよお...

あ...♡

トク...

トク...

チヌ...

明莉のも気持ちいいぞ...  
俺のをギュウギュウ締め  
上げてるぞ...

いやあ...



別に近親相姦では無い。  
明莉は俺の妻だ。

3歳年下の幼馴染みで新婚1年目。  
物心ついた頃から「お兄ちゃん」呼ばわりで  
結婚してからもそれが抜けておらず  
よく出てきてしまう。

悪い気はしないが直して欲しい気もする。













俺も、  
いくぞっ！！！

来てっ！♡  
頂戴っっっっ！

お兄、ちゃんっ♡  
ダメッ もう、ダメッ

♡♡♡♡♡

ジジジ  
バババ

グググ  
グググ

グググ  
グググ

♡♡♡♡♡









はあはあはあ...

気持ちいい...

あ...は...出てる...  
いっぱい...



私も、愛してる…♡

明莉、愛してるよ

あぁ…♡

ん…♡♡

きゅ♡

きゅ♡

くちゅ♡

くちゅ♡

♡

♡

♡♡





もう...大好き...

あぁ...

もう、恥ずかしく  
なってきちゃった  
じゃない♡

ずっと初心を  
忘れたくないんだよ

ぞろ...ぞろ...

は...は...







この後3回、明莉に  
中出しセックスしまくったのだった。



あなた、  
気持ち良かった...♡

俺も良かったよ  
明莉は最高だよ

はぁ...♡♡

も...♡

ん...♡

も...♡

ん...♡





うふ、♡♡

早く赤ちゃん  
出来ると良いね♡

うふふ...♡

♡  
キョッ  
キョッ...♡

ああ、そうだな



明莉、もう一回  
良いか？

あふ...

もう、まだするの？  
4回もしたのに...

もう...

俺まだいけるぞ



ごめんなさい、  
もうあそこがヒリヒリして...

うん...

しゅん...

おあ...

そうか、ごめんな  
優しく出来なくて...





ああ...

ううん、謝らないで  
わたしもがんばれる  
ようになるから

きゅん...  
♡♡♡

無理するな、  
明莉に何か  
あったらイヤだぞ

うん...

♡...♡

♡

明莉は優しく可愛くて最高の嫁だが  
俺が絶倫すぎるのかセックスだけは  
いまひとつ満足できていない。  
そのセックスも週末にしかしていない。

少し辛い気もするが  
ここは我慢するしか無い。  
愛する明莉を守るための試練だと考えている。  
余った元気はがんばって仕事して稼いで  
生活に役立てる事にする。

そんなある日の事：



やつほー♪

お姉ちゃん!?

義姉さん!?

この人は明莉の姉、葵さん  
俺の初恋の人で初体験の相手…  
3年前に結婚している。  
その義姉が大きいキャリーバッグを  
重そうに引きながら尋ねてきた。





いやー、ダンナと喧嘩して  
出てきちゃった。  
しばらく泊めてくれる？

大丈夫なの？  
空いている部屋は  
あるから良いけど  
実家には？



あー、ちよつと  
みつともない話  
なんでまだ…

旦那さん、  
浮気してたの？



さすが明莉ちゃん、  
察しが良いわね

だってあの旦那さん、  
だらしなさそうだったし

たは

いや

え、  
そうなのか？

あはは、そうなの…







だらしなにに関しては  
俺も笑えない。  
俺自身ずっと葵さんと  
明莉とどっちつかずな  
優柔不断な付き合いをしていた。

葵さんが結婚と聞いた時  
多少ショックを受けたし  
もしそれが無かったら  
明莉と結婚しなかった  
かも知れない：



それじゃあしばらく  
厄介になるわね

はっはっはっ

こうして幼馴染み姉妹と  
一つ屋根の下で  
しばし暮らす事になった。

その夜、明莉は早々に寝てしまっていた。  
俺はその可愛い寝顔に  
悶々とした気分を押さえながら  
軽く一杯引っかけてから  
寝ようと台所へと向かった。

そこでパジャマ姿の義姉さんと遭遇した。

「あら眠れないの？」

「うん、義姉さんも？」





ね、義姉さん……？

ねえ……

義姉さんが俺に迫ってきた。

うふふ

キ

ミッ

もしかして溜まってるんじゃない？

たまってるって、何が…？

せ・い・よ・く、よ…

ふふっ♡

え…

見れば分かるわよ。  
明莉って昔から  
体力無いから  
あなたの絶倫には  
ついて行けて  
ないんじゃない？

お見通しですか…

あたしもね、  
溜まってるんだ…

義姉さん…？

あはは…

しゅん…

実はもう1年  
くらいしてないの…

そんなに…!!？







旦那ね、もうあたしには  
女の魅力感じて  
ないみたいなの…

そんな、義姉さん  
美人なのに…  
それにその、エッチ  
だって上手いし…

キ  
ュ  
ン♡…

うふ、ありがと

だからさ、久し振りに  
あたしとしない...?  
セックス

ね、義姉さん...

義姉がパジャマを  
はだけると、思い出の  
中にあるのと  
殆ど変わらぬ綺麗な  
バストが姿を現した。

はるるる...

アッ...

すぐにでも飛びつき  
たい衝動に駆られるが  
俺は明莉の夫だ。  
それを思うと強烈な  
ブレーキがかかる。

明莉の事は気にしないで。  
あたしが悪いの。  
欲求不満の姉が妹の旦那を  
無理矢理押し倒すだけ。  
そう、それだけだから…

悪役を申し出る  
義姉からの誘惑に  
負けそうになる。

義姉さん、  
本当に良いの？

良いのよ、  
悪いのはあたし  
だけ…よ

義姉さん…

そこまで言われたら  
もう覚悟を決める  
しか無い。





義姉さんの部屋に行きお互い服を脱ぐ。  
長いキスをしながら初体験の夜を  
思い出していた。

あのかきはお互い初めてで俺は  
欲望に支配されてちっとも優しく  
出来ず義姉さんを犯しまくった。  
きつと痛かったはずなのに  
義姉さんは俺を受け入れてくれた。

その反省で身体が少し弱い明莉には  
極力優しくしてきた。



うふふ、  
久し振りのオチンポ♡

おは♡♡

もうすっかり  
カチンカチンね

うおおっ

たのふっ♡♡

くにゅっ♡



昔より大きく  
なったんじゃない？

そ、そうかな…？

ああ、素敵い…



もうこんなにビクビク  
してすぐに爆発しそう…

ね、義姉さんの  
おっぱいが気持ち  
いいから…っ！

あは…♡

ん♡

ピクッ

ピクッ

うふふ、嬉しい…





明莉とは  
こういう事して  
ないの？

う、うん。  
明莉とはノーマル  
プレイしか  
してないよ…ッ！

ふうん…





それっ♡

うおおおおっ！  
そんなにしたら  
っっっ！

すりすり

はぁ♡  
あ♡♡

ぬっ♡  
ちっ♡  
ちっ♡

ぬっ♡  
ちっ♡  
ちっ♡

そんなに喜ばれ  
ちゃうとお姉さん  
頑張っちゃうわ



ああすごおい♡

でもまだいつちやダメよ  
我慢していつぱい  
出して！

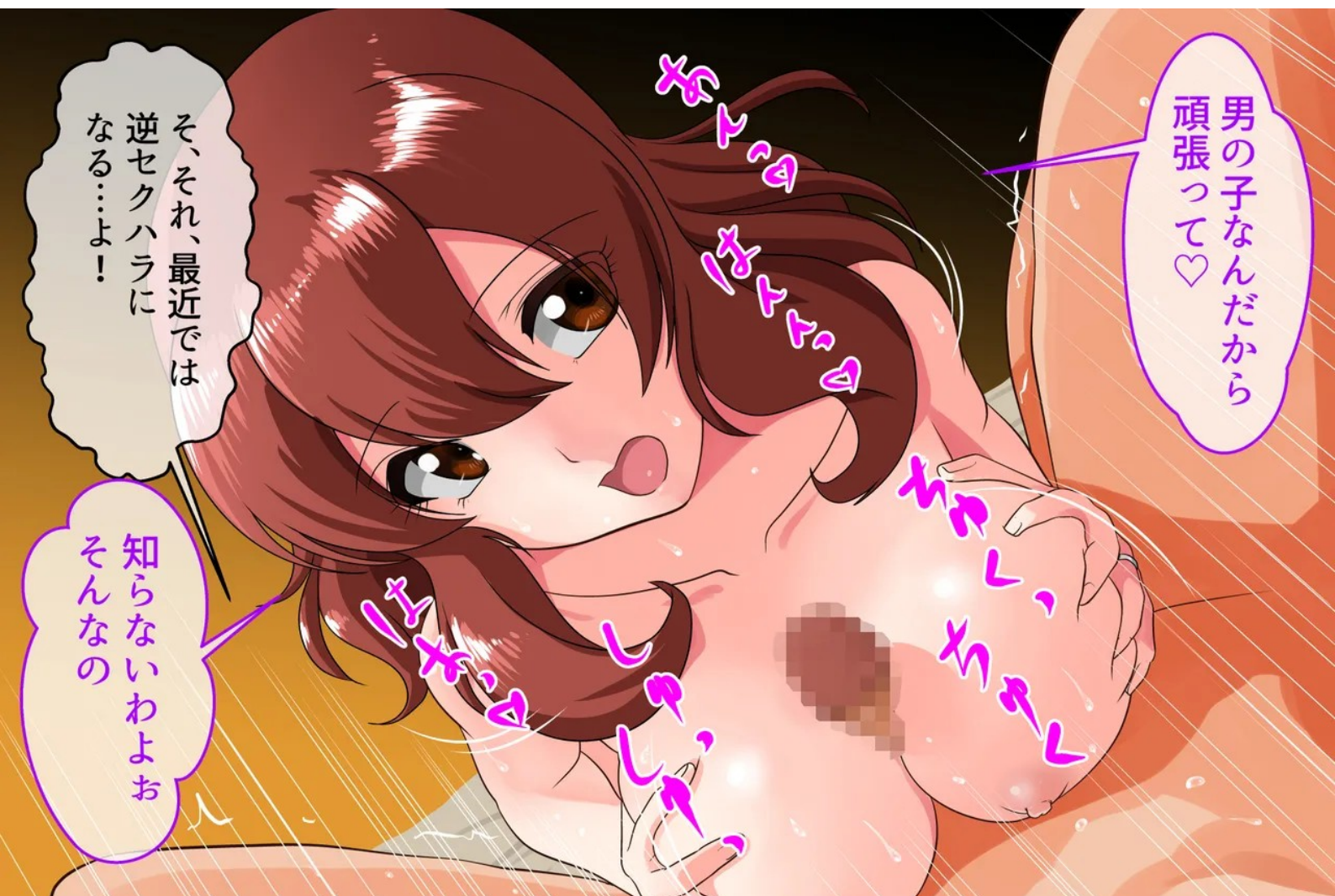
そ、そんなあああつ



男の子なんだから  
頑張っ♡て♡

そ、それ、最近では  
逆セクハラに  
なる…よ！

知らないわよお  
そんなの











ああんっ

おおおおお  
おおっっっ



はあっ、はあっ、  
はあっ、はあっ、  
はあっ、はあっ、

ああ…スゴイ  
あっうい…♡



いっぱい出たね…  
あなたの精子の臭い  
大好きよ…♡

義姉さん…

まだまだ硬いね。  
今度はあたしを  
気持ち良くして…



義姉さんいいの？  
このままで

背中を向けて  
そう言う義姉さんは  
少し悲しげに見えた。

入れるよ…

良いのよ、  
大丈夫な日だし2年も  
子供出来なかったしね…

うん、来て…

ん…♡

ん…♡♡

ドキ

ドキ

♡

♡

ドキ  
ドキ

♡

ドキ  
ドキ

♡





義姉さんの  
相変わらずすごい  
締まるッ

んっ♡♡

ああん、嬉しい…

グッ

あ♡♡  
ち♡♡

いい、  
このオチンチン  
やっぱいい…♡

ズチッ…

ピクッ  
ピクッ

あ、あああ…

ズグッ…





動くよ...  
義姉さん...

きてえ、  
久し振りだから  
最初はゆっくりね...



義姉さん…

義姉さんの膣から  
愛液がどんだんあふれてきて  
湿った音と共に滑りが  
良くなってくる。

いいよ、  
もつと激しくして…♡

あああ…いい…♡  
この感じ久し振りい…







アッ♡  
アッ♡  
アッ♡

あはんっ、きてっ、  
もっとうっっ！

アッ♡

ビッ

ビッ♡

シッ  
シッ  
シッ

シッ  
シッ  
シッ

じゅぽ、  
じゅぽ、  
じゅぽ、

あんっ、あんっ、  
あんっ♡

あんっ、あんっ、  
あんっ♡

じゅぽ、  
じゅぽ、  
じゅぽ、







義姉さんっ、  
おれ、もうつつっ！

イクのっ？  
義姉のマンコで  
イクのつつっ？

はんっ♡♡♡  
アッ♡♡♡

いいよっ、  
あたしも、  
イクツツツツツ







しゅしゅしゅ

プルプル

ああスゴイ、  
義弟チンポに中出し  
されてイッてるの…♡

ダグダグ  
ダグダグ  
ダグダグ

ビクビク  
ビクビク  
ビクビク

ピクピク  
ピクピク  
ピクピク

はぁはぁ♡  
はぁはぁ♡  
はぁはぁ♡

アハハ♡  
アハハ♡  
アハハ♡

この後さらに3回  
中出しセックスをした。





うふふ、  
久し振りのセックス  
すごく良かったわ♡

義姉さんは合計4回目の  
セックスが終わった後  
お掃除フェラをしながら  
満足そうに微笑んでいる。



明莉は幸せ者ね、  
こんな素敵なオチンポに  
愛されているんだもの

うふふ♡

うふふ♡

うふふ、言葉のあやよ

チンチンだけで  
愛しているわけ  
じゃ無いんだけど



あ...

まだこのオチンポ  
満足していないみたいね...

うん、  
もう一回くらい  
したいな

昔も凄かったけどさらに  
絶倫になったんじゃない？  
まるでハーレム系  
エロ漫画の主人公みたいね

何でそんなの  
知ってるの？

あん♡

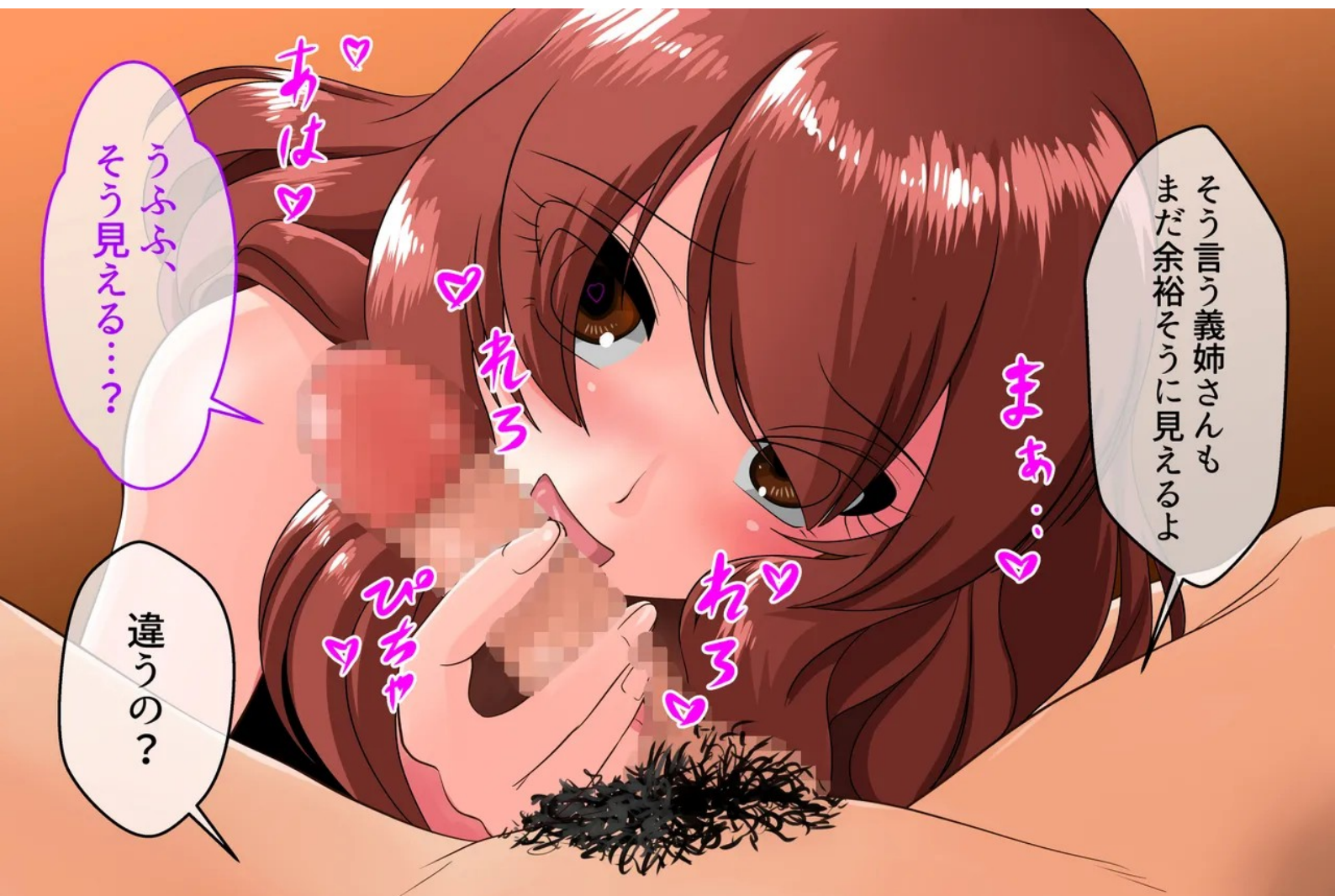
703

703

♡ちゅ♡

♡ん♡





そう言う義姉さんも  
まだ余裕そうに見えるよ

まあ…♡

れろ♡

れろ♡

ぴゅ♡

あは♡

うふふ、  
そう見える…？

違うの？



ねえ…このオチンチン、  
明莉のお尻に入れた  
事ある…？

♡はあ…

え、いや無いけど…  
さつきも言つたけど  
明莉とはノーマル  
プレイだけだし…

♡ん…♡

♡ん♡

♡ふん…♡

♡ん♡

そうなんだ、あたしには  
がつついてきたのに  
明莉は大切にしてるのね

でも義姉さんを  
大切にしてい  
ないわけじゃ…





うふ♡  
わかってるわよ

ん...♡

ねえ、あたしのお尻でしない？

えっ♡

脅かさないでよ...

良いけど、旦那さんとは...

してないわよ、君としかした事ないわ...

ぴゅ...

義姉さん...





ん、ああああん…  
お尻裂けちゃいそう…

義姉さん、ずっと  
してなかったんでしょ？  
無理しない方が…

良いのよ、  
この感じが良いの…

ん…







はぁんっ、大丈夫よ。  
この感じ久し振りい...

優しいのね...  
嬉しい、ホントに  
大丈夫だから...

義姉さん、  
無理しちゃダメだよ...



あたしが動くね、  
あなたはそのままいて...

う、うん...

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん  
ぐん





あん…あん…  
んん…んん…

うんふうっ、  
ああっ

義姉さん、  
すごくいいよっ

嬉しい…んん…  
あたしも、いいっ♡



ああんつつつ、  
かあつつつあつ

お尻イイ、  
イイのっ！

くんくんつつつ、  
んんっ！

じゃぼ  
じゃぼ  
じゃぼ

ぐぐ  
ぐぐ





たまらず下から  
突き上げる。

ひい  
めい  
っ！  
っ！  
っ！

義姉さん、ゴメン！  
俺動きたいよっ！

いいよっつ、  
いっしょに気持ち  
良くなるっつっ







あああああああつっ！  
イクッ！

お尻セックスで  
いきそうなのツツ！

俺もいきそうだった！  
出すよっ！  
義姉さんの尻に  
中出しするよっつ！

きて！  
だして！  
義弟精子お尻に中出し  
してツツツツツ！





おおおおおっっ！





と、  
止まらないっ!!

しゅごいっ!  
お尻の中がザーメン  
いっぱいになってくっくっ!







はあはあはあはあ

はあ、はあ、  
す、凄かったわ...

すげー気持ち良かった。  
こんなにアナルセックスって  
気持ち良かったっけ...？

あたしもすごく良かったわ、  
久しぶりだったからかしらね...

まだ硬いわね、  
このまままたする？  
あたしは良いわよ♡

それじゃあ  
もう一回このまま  
アナルで

うふふ、おて...♡







有り難う、良かったわ。  
こんなにしたの久し振り

うふ♡

ん...♡

俺もこんなに  
満足したの久し  
振りだよ

ごめんね、  
あたしにこんなに  
付き合わせて

もういいって、  
明莉には悪いけど…

ん…

お…

…ねえ、あたしと  
セフレにならない？

え？  
セフレ…？





そう、浮気でも  
不倫でも無く、  
エッチ友達に

義姉さん…

それなら明莉に  
気兼ねする事も  
無いわよ

うふ♡

そういうことなら…

どうも釈然としないが  
俺の性欲のせいで明莉が  
苦労しているのを思うと  
これも解決方法としては  
アリかと思った。

それとあたし  
なるべく早めに  
出ていくわ

義姉さん、  
別にここにいてくれ  
ても良いんだけど

そうも行かないわよ。  
旦那ともキツチリけりつけて  
実家に帰るかどこかに  
住むところ見つけるわ

もっ...♡

ん...





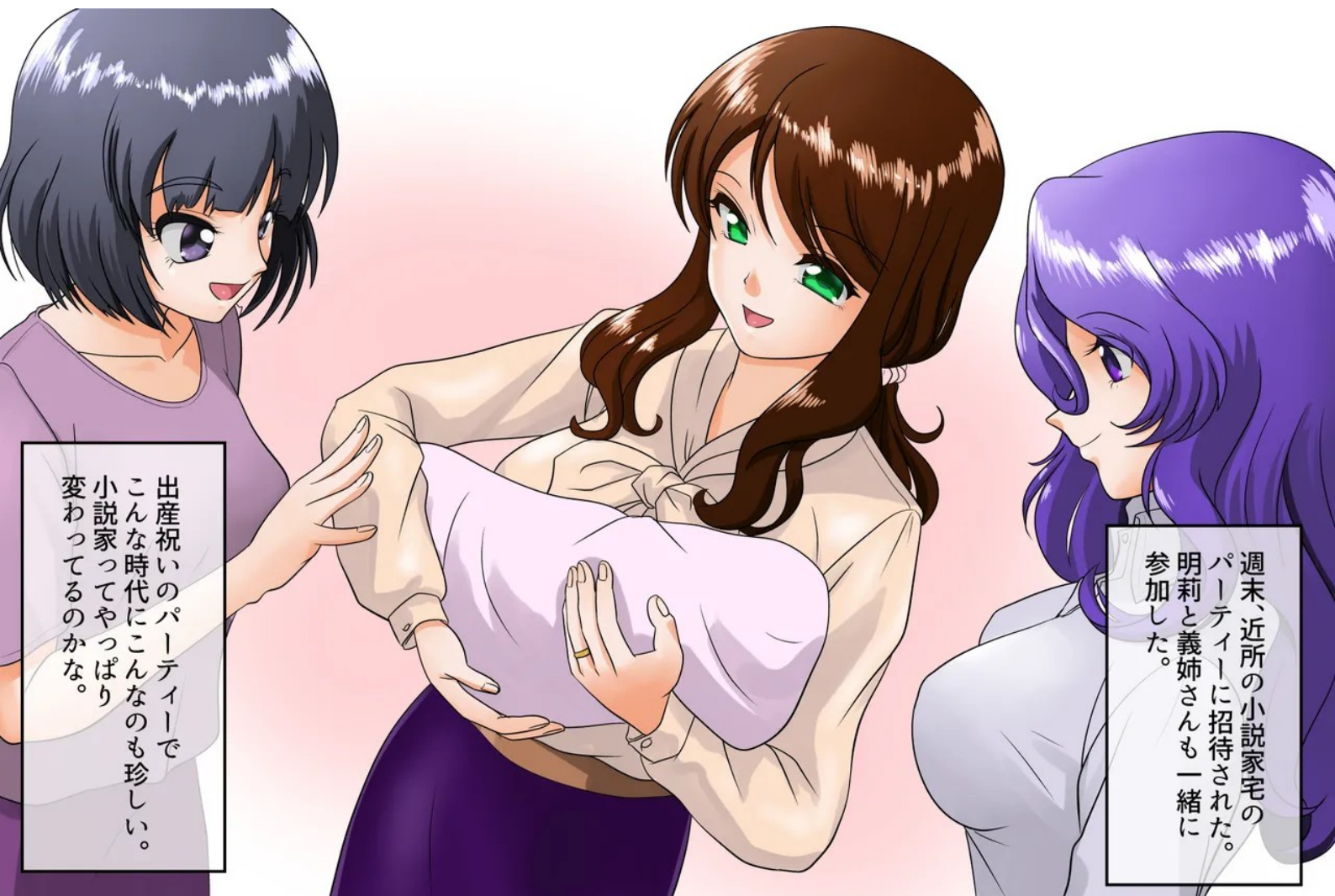
明莉の事、お願いね…

義姉さん…

ね…

ん…

俺はなにかモヤモヤとした  
気分を引きずりながら  
シャワーを浴びて  
明莉のもとへ戻った。



出産祝いのパーティーで  
こんな時代にこんなのも珍しい。  
小説家ってやつぱり  
変わってるのかな。

週末、近所の小説家宅の  
パーティーに招待された。  
明莉と義姉さんも一緒に  
参加した。





「可愛いよね赤ちゃん」

「ああそうだな、俺たちも頑張ろうな」

「うん」

「あの両脇の人が例の両隣宅の奥さん？」

「そう、旦那さんも含め4人とも仲よさそうだった」

「ふうん…」

「義姉さん何か気になるの？」



義姉さんがこっそりと耳打ちしてくる。

「旦那さん、両脇のふたりとも

エッチしてるわね」

「あ、やっぱり」

「え、マジ?!」

「多分ね」

「そんなだとギスギスしそうだけど

仲よさそうに見えるな…」

「何があつたのかは分からないけど

あの4人そういつたこと分かっていきそう」

「旦那さんをシェアしてるみたいなの？」

「そう、そんな感じ」

不思議な人間関係もあるもんだな…



その夜、明莉と子作り。

明莉はいつも以上に積極的に迫ってきた。  
パーティーで赤ちゃんを見て  
子供が欲しいという気持ち  
がより増したんだろうか。

と思っただが…

明莉が積極的にフェラチオをしてきた。  
こんな事は初めてだ。  
AVやエロ漫画なんかじゃ  
当たり前のフェラだが  
現実にはかなりの変態プレイ、  
明莉には極力ノーマルで  
いるように心掛けてきたのだが…。

あ、明莉…？

んん、うん…

ちゃぷ、  
くちゅ





慣れてない感じの  
初々しいフェラチオ。  
興奮してきて俺の息子は  
ビンビンに硬度を増す。

うふ、もうこんな  
に硬くなった♡

明莉良いのか？  
フェラなんて  
初めてだろう？

ふふ…♡

あ…♡

ん…♡

フェラ嫌い？

いや  
好きだけどさ…



私だっけずっと  
こうしたかった  
んだよ...

明莉...

ん...  
あ...  
ん...

は...  
ん...

お姉ちゃんには敵わない  
かも知れないけど私だっけ  
お兄ちゃんともっと  
エッチな事したいんだよ...





んむっ、うんっ、  
むちゅっ

ちゅっ  
ふっ

くちゅ

んっ  
んっ

おいひい、  
おいひい、  
おにいひゃんのおひんひん  
おいひいっ♡

いいぞっ、  
明莉ッ、うおっ

じゃほ  
ぐほ



イカン、このままじゃ  
明莉の口の中に出してしまう。  
子作りなんだから  
ちゃんと明莉の膣に  
出さなければ。

明莉っ、  
もういいよっ

んっ、んっ、  
んっ、んっ、

うおっ、  
ううっ、うっ

んん？

いゅぽっ、  
いゅぽっ、

ちゅ

くちゅ

いゅぽっ



…気持ち良くなかった…？

いや、凄く気持ち良いよ、でも明莉の膣でイきたいんだ

ん…

はぁ…

ん…♡

…うん…

少し残念そうに見えるのは気のせいだろうか。





あ、♡

んはああつ…  
入ってくるう…

あ、♡

ん、  
は、♡

ああん…  
奥に届いたあ…♡

ああ、分かるぞ、  
明莉の奥に当たって  
るのが分かるぞ

ああ…ん

ちゅ…

じゅふふ…

明莉と騎乗位  
なんて珍しいな…





明莉、今日は  
すごいな...

旦那さんを気持ち  
良くするのも奥さん  
のお仕事だもん...

大好きだよ明莉

嬉しい、  
私も大好きだよ  
お兄ちゃん...

そう言うと  
明莉の膣がいつそう  
締まってくる。

ん...  
ドキ

ん...  
ドキ

ドキ  
キュン♡

キュン♡

キュウッ

明莉は腰をグリグリと動かして奥に当たる肉棒を味わっていた。

ん、はぁあんっ……！  
んんん、いいん……っ！

ああんっ、  
あんっ！

はぁぁぁ  
…んんっ、

んっ♡

んっ♡

んっ♡

クネ

クネ

クネ

クネッ

じゅ



俺もそろそろ反撃する。  
下から明莉を突き上げる。

あん、やあ…っ

イヤならやめるか？

意地悪しないでえ、  
イイよお、もつとしてえ…っ

いくぞ明莉

きてえ、  
お兄ちやあん♡





あつダメッ  
そんなつ  
すごつつつ、いっつ!

あんんんっあつ!  
あんっ!  
いっ、あつ、いっ!

ズ  
グ  
グ

ズ  
グ  
グ

バ  
ッ  
チ  
ュ  
ッ











あああああつ、  
まだ出てるっ、  
いいっ

ブルッ

アッ  
♡アッ  
♡

トッ  
♡トッ  
♡

うおおおおっ  
止まらんっ！

トッ  
エッ  
トッ  
エッ

トッ  
ル  
ル  
ル



あ...♡

はあはあ  
はあはあ

あ...♡

いっぱい出たね...

くちゅ

ちゅ...ふ...

気持ち良かったよ

私も気持ち良かった...





お兄ちゃんのまだ硬いね

おん♡

ん♡♡

キム♡

うふ♡

キム♡

もう、お兄ちゃんの  
えっちい……♡

悪いもつと明莉と  
セックスしたい

ダメか？



いいよ、  
私も頑張るから...

無理するなよ

はぁ♡

ん♡♡

うん...♡

ドキ♡  
ドキ♡  
ドキ♡

ドキ♡  
ドキ♡  
ドキ♡

この夜はもう2回明莉とセックスした。そこで明莉はギブアップ。義姉さんとしていたお陰であまり悶々とした気分は残らなかった。



あなた、  
ちよつと大事な  
お話があります

夕食後くつろいでいると  
明莉が真剣な顔で聞いてきた。  
何かあったのかな。

その、  
お姉ちゃんと  
したでしょ？

え？

だからお姉ちゃんと  
セックスしたでしょ？

ヤバイ、ばれてた…  
明莉に隠し事なんて  
出来ないって  
昔から知ってたのに…



ゴメン、  
義姉さんが尋ねて  
きた晩に…



明莉を傷つけてしまった…  
目先の欲に負けた俺が悪い。  
素直に非を認めて謝って  
どんな償いでもするしかない。  
考えたくないが最悪の事も考えた。

ほんとにゴメン、  
どんな罰でも  
受けるよ…



くす

だってさ、  
お姉ちゃん

あら...♡

...え?







昔からそうよね。  
私たちが何かしても  
いつもかばってくれたし…

うふっ♡

もう♡♡♡

あたしが悪いのに  
コイツったら全部自分に非が  
あるみたいに言うんだから

そうだったか？  
そうだったかも…  
そりゃあ好きな女の子を  
守るのは当然だと思ってるし…





ん…

それなんだけど、  
私は…

ねえ…

ほんとにあたしが悪いの。  
あたしはすぐ出て行くから  
コイツの事は許してあげて



明莉!?

えいど...

おい...?

お姉ちゃんとなら、  
良いかなって思ってるんだ

!?





明莉…

!

お姉ちゃんあんなに  
結婚急いだの  
お兄ちゃんを私に  
譲るってのも  
あったんでしょ？

そう…

お姉ちゃんまだ  
お兄ちゃんの事  
好きでしょ？

ふううう

お見通しだったの、  
明莉には敵わないわね…

お姉ちゃんもお兄ちゃんも  
私に遠慮すぎるの

んもう…

そりやずっと好きだった  
お兄ちゃんと結婚できたのは  
嬉しいけど、私お姉ちゃんの  
事も好きなんだから  
お姉ちゃんも私に遠慮せずに  
その、お兄ちゃんと  
愛し合って良いんだよ

ね♡

もう…





あなた幸せ者よ、  
こんな良いお嫁さん  
もらえたんだから

良いのよもう。  
これからは  
3人一緒にね

もう...

ねえ...

お兄ちゃんだって  
私たちどっちか選べって  
言われても出来ないしね

明莉、ゴメン。  
優柔不断で...



おやおや、  
またひとつ男らしく  
なったかしら

おっ♡

分かった！  
もうふたりまとめて  
愛してやる！

あはは♡

うふふ、  
昔とはちよつと  
違うけどまたみんな  
で仲良くしよ



というわけで



ええと  
これはどういう…

ふたりまとめて  
愛してくれるんでしょ？

そうそう、  
それにこういうのも  
したかったんでしょ？

そりゃあ、  
考えた事はあったけど  
まさかほんとに  
出来るとは…

ふふふ  
♡

あは  
♡

うふふ  
♡





ああ…お兄ちゃんの  
オチンチン美味しい…

好きな人の  
オチンチン舐める  
のって素敵でしょ♡

うん、幸せ…♡

れろ  
れろ

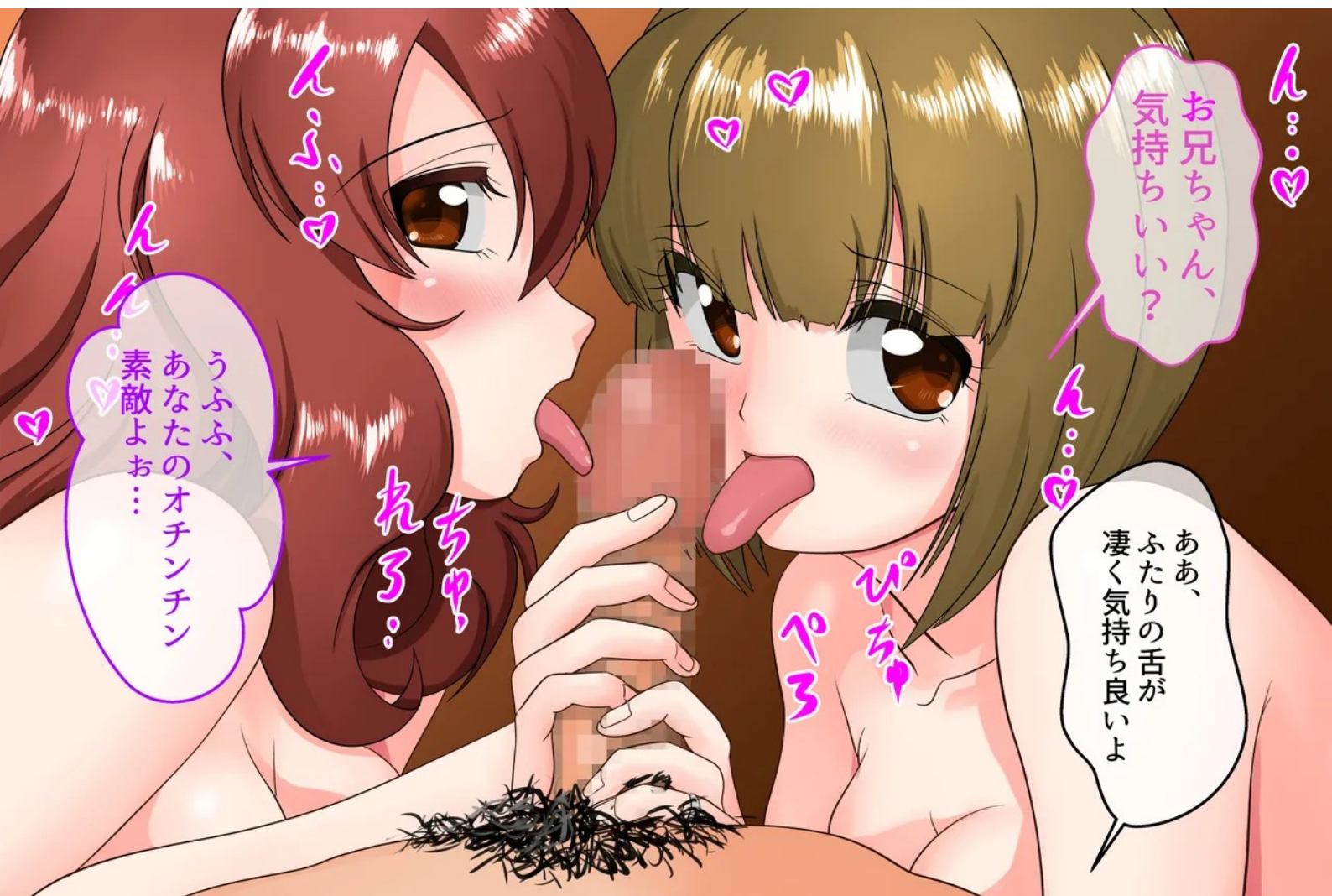
ぺろ  
ぺろ

ん…♡

♡

♡

ん…♡









そろそろヤバイ、  
出そうだよ

お兄ちゃん出るの？

ぴちゃ  
ぴちゃ

はぁん♡

んん♡♡

へろへろ

良いわよ、  
このまま出して…

でも…っ

遠慮しないで  
お兄ちゃん…♡

んふ…♡♡







はあはあ…

ああ…  
お兄ちゃんの  
せーえき…  
あつうい…

あま…♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

はあ…♡

すごい臭い…  
たまらないわ…

ああ…♡

♡





これがお兄ちゃんの  
精液い、美味しいい…♡

ああ…♡

ん…♡

明莉…？

ぺろ  
ぺろ

あん♡

はあん♡

ぴちや  
ぴちや

好きな人の精液って  
美味しく感じるのよ…

ん…♡

明莉良いのか？  
こんなその、  
変態プレイ…



♡ お兄ちゃん、私だっでこういう事したいんだよ...？

♡ あん...♡

♡ お兄ちゃんにめちやくちゃんにされたいってずつと想ってたんだから...

♡ ん...♡

♡ もう、お兄ちゃんにだけだよ...♡

♡ うふふ、淫乱なのはあたしに似たのかしら？

♡ ん...♡

♡ あたしだっでそうよ♡

♡ うふ♡





ええ♡

さあ、  
明莉に入れてあげて

あん♡♡

お姉ちゃんから  
してあげて

ブリッ♡

トロ...♡

うーん、  
どうしたモノか...



どっちも一理あるが  
明莉から、  
俺の一番は明莉だから

でもお姉ちゃん  
ずっと我慢してたんでしょ

お兄ちゃん……♡

うふふ、  
妬けちゃうわね

明莉が奥さん  
なんだから明莉からよ

もっ……♡

え……





ああ...♡

ああ、  
明莉幸せそう...

うん、いますごく幸せっ！  
大好きなお兄ちゃんとお  
姉ちゃんと一緒なの♡

あたしも凄く幸せよ...

あああんっっ

あ♡♡

ヒクッ

ズグッ

ズグッ



ああ...  
もっと激しく  
愛してあげてえ♡

あふ...♡

あんっ、  
あんんっ、ああっ

アッ♡  
アッ♡

ズッ  
ズッ

グッ  
グッ

ズッ  
ズッ





ああああっっ、いいのっ!!  
お兄ちゃんのおチンチンが  
奥まで突いてくるのっ!!

いいっ、もっつとおっ!  
犯してお兄ちゃああんっ!!

すぐくエツチよ明莉…

いくぞ明莉っ



いいわよイキなさい！  
お姉ちゃんに明莉が  
大好きな人のオチンチンで  
イクところ見せてっ！

俺も、  
でるっつっ！

あひっつ、あっつ！  
もうっつい、いっちやうっつ！

ああ...

アッ♡

アッ♡

ヒッ♡

グ  
チ  
ュ

グ  
チ  
ュ

プ  
チ  
ュ

グ  
リ  
ッ







俺も良かったよ明莉...

おにいちゃん...  
気持ち良かったあ...

嬉しい...♡

はあ

はあ♡

ハア♡♡

ピクッ

ピクッ

ドロォ...







ああ、もちろんだ。  
いくよ義姉さん

...うん、きて...

さあお兄ちゃん、  
今度はお姉ちゃんに  
上げて...

だき  
だき

ちゅく...





動くよ義姉さん…

うん、きてえ…、  
オマンコかき回してえ…

ああんっっ♡

ビクッ  
ビクッ

ズ  
ズ  
ズ



いいよおつ、  
このオチンチン  
いいよっ♡

はああああ…んんっ、  
んふうう…  
ああん、あああつ

お姉ちゃんの  
感じている顔素敵…

おち…♡





ああッ♡

ああんんんんっ  
ふあうううんっ

あッ♡

あっっっ、あんんんっ

ハチエッ

あッ  
あッ  
あッ  
あッ  
あッ

ああ…  
お姉ちゃんの身体が  
熱くなってる…

ズッ  
ズッ  
ズッ



お兄ちゃん、  
お姉ちゃんの中に  
出してあげてっ！

あひつ、あつつつつ、ダメツツツ  
もういつつちや、うつつつ！！！

おおっ♡

いくよっ！  
出すよ義姉さんっ！

きてっ！  
ちようだいっ！  
おとうとザーメン  
中にちようだいっ！





セ  
ユ

ル  
ッ

セ  
ユ  
ッ

セ  
ユ  
ッ  
セ  
ユ  
ッ

あああああ  
あああ  
つつつつ

ひ  
ッ  
♡

ひ  
ッ  
♡

ド  
ッ

ド  
ッ

♡  
お

おおおおお  
おお おお おお  
おお おお おお



ドクン  
ドクン

ドクン

ドクン

お姉ちゃんも  
幸せそう…

はぁん…  
あぁん…

ハァ  
ハァ

あああ…  
中にいっぱい  
満たされてるの…

義姉さん、  
気持ち良いよ…

あんっ、  
幸せよ…  
幸せすぎて壊れ  
ちゃいそう…





あぁ、まだまだいけるよ  
次は明莉、いくぞ…

うん、来て…♡

うふふ、まだ硬いね…♡

おん♡

おん…♡

チュン…

この夜はふたりにもう  
3回ずつ中出しし、  
合計9回射精して俺は果てた。  
こんなに幸せに満ちた夜は  
初めてだった…

それからしばらくして  
義姉さんは正式に離婚した。  
職場にも近い事もあり、ウチで  
一緒に暮らす事になった。

俺と義姉さんは毎日朝から  
明莉に見送られて仕事に出かけ  
明莉は家事を毎日しっかり  
こなしてくれる。  
みんな一緒に頑張って行こうと決めた。

そしてほぼ毎週末は…





あん、  
もつとクリトリス  
舐めてえ…♡

おおん♡

あああん…♡  
はいつたあ…

3人でエッチしている。  
俺と義姉さんの性欲も  
満たされるし  
明莉の負担も減らせるし  
良い事づくめだ。

プルッ

グチュ…

チュ…

ピッ

ピッ







あつだめつ、  
だめつだめつっ！

ああああんっ  
いっ！はああっ！



いぐっ、いぐっ  
クンニでいっ、  
いくっ、いくっ、

ひっ、いいいっ  
も、だめっ、だめっ  
いっひやうっ、いっひやうっ

れろ、

にゅる

ね  
ちゅ

ズッ  
ズン  
ズッ

ズッ  
ズン  
ズッ







あゝ♡

もう、  
お口でイカされ  
ちゃった…♡

はな…♡

はあはあはあはあ…  
気持ち良いい…♡

ああん♡

うふふ、  
次はオチンチンで  
イッてお姉ちゃん

ドロォ…

こんな性活が続いている。  
いつまでも続くと良いな…

おしまい



村夫子2019

# セフレと…4

妻の姉がセックスフレンド



あ...♡

ああん、お兄ちゃあん、  
きもちいいよお...

あ...♡

トク...

トク...

チヌ...

明莉のも気持ちいいぞ：  
俺のをギュウギュウ締め  
上げてるぞ：

いやあ...





別に近親相姦では無い。  
明莉は俺の妻だ。

3歳年下の幼馴染みで新婚1年目。  
物心ついた頃から「お兄ちゃん」呼ばわりで  
結婚してからもそれが抜けておらず  
よく出てきてしまう。

悪い気はしないが直して欲しい気もする。



うん、きてえ...

動くぞ、明莉...





あんっあんっ  
あんっ

ああん…  
ああっ…あんっ

んんっ

あ…♡

あ…♡

グ  
チ  
ム

グ  
チ  
ム

ぐ  
ぱ  
ぱ







俺も、  
いくぞっ！！！

来てっ！♡  
頂戴っっっっ！

お兄、ちゃんっ♡  
ダメッ もう、ダメッ







はあはあはあ...

気持ちいい...♡

あ...は...出てる...  
いっぱい...♡













この後3回、明莉に  
中出しセックスしまくったのだった。



あなた、  
気持ち良かった...♡

俺も良かったよ  
明莉は最高だよ

はぁ...

オム...

オム...

も...







明莉、もう一回  
良いか？

あふ...

もう、まだするの？  
4回もしたのに...

もう...

俺まだいけるぞ





ごめんなさい、  
もうあそこがヒリヒリして...

うん...

しゅん...

おあ...

そうか、ごめんな  
優しく出来なくて...



ああ...

ううん、謝らないで  
わたしもがんばれる  
ようになるから

きゅん...  
♡♡♡

無理するな、  
明莉に何か  
あったらイヤだぞ

うん...

♡...♡

♡



明莉は優しく可愛くて最高の嫁だが  
俺が絶倫すぎるのかセックスだけは  
いまひとつ満足できていない。  
そのセックスも週末にしかしていない。

少し辛い気もするが  
ここは我慢するしか無い。  
愛する明莉を守るための試練だと考えている。  
余った元気はがんばって仕事して稼いで  
生活に役立てる事にする。

そんなある日の事：



やつほー♪

お姉ちゃん!?

義姉さん!?

この人は明莉の姉、葵さん  
俺の初恋の人で初体験の相手…  
3年前に結婚している。  
その義姉が大きいキャリーバッグを  
重そうに引きながら尋ねてきた。





いやー、ダンナと喧嘩して  
出てきちゃった。  
しばらく泊めてくれる？

大丈夫なの？  
空いている部屋は  
あるから良いけど  
実家には？



あー、ちよつと  
みつともない話  
なんでまだ…

旦那さん、  
浮気してたの？



さすが明莉ちゃん、  
察しが良いわね

だってあの旦那さん、  
だらしなさそうだったし

たは

いや

え、  
そうなのか？

あはは、そうなの…





だらしないに關しては  
俺も笑えない。  
俺自身ずっと葵さんと  
明莉とどっちつかずな  
優柔不斷な付き合いをしていた。

葵さんが結婚と聞いた時  
多少ショックを受けたし  
もしそれが無かったら  
明莉と結婚しなかった  
かも知れない：





それじゃあしばらく  
厄介になるわね

はっはっはっ

こうして幼馴染み姉妹と  
一つ屋根の下で  
しばし暮らす事になった。

その夜、明莉は早々に寝てしまっていた。  
俺はその可愛い寝顔に  
悶々とした気分を押さえながら  
軽く一杯引っかけてから  
寝ようと台所へと向かった。

そこでパジャマ姿の義姉さんと遭遇した。

「あら眠れないの？」

「うん、義姉さんも？」





ね、義姉さん……？

ねえ……

義姉さんが俺に迫ってきた。

うふふ

キ

ミッ

もしかして溜まってるんじゃない？

たまってるって、何が…？

せ・い・よ・く、よ…

ふふっ♡

え…

見れば分かるわよ。  
明莉って昔から  
体力無いから  
あなたの絶倫には  
ついて行けて  
ないんじゃない？

お見通しですか…



あたしもね、  
溜まってるんだ…

義姉さん…？

あはは…

しゅん…

実はもう1年  
くらいしてないの…

そんなに…!!？





旦那ね、もうあたしには  
女の魅力感じて  
ないみたいなの…

そんな、義姉さん  
美人なのに…  
それにその、エッチ  
だって上手いし…

キ  
ュ  
ン♡…

うふ、ありがと



だからさ、久し振りに  
あたしとしない...?  
セックス

ね、義姉さん...

義姉がパジャマを  
はだけると、思い出の  
中にあるのと  
殆ど変わらぬ綺麗な  
バストが姿を現した。

はるるる...

アッ...

すぐにでも飛びつき  
たい衝動に駆られるが  
俺は明莉の夫だ。  
それを思うと強烈な  
ブレーキがかかる。

明莉の事は気にしないで。  
あたしが悪いの。  
欲求不満の姉が妹の旦那を  
無理矢理押し倒すだけ。  
そう、それだけだから…

悪役を申し出る  
義姉からの誘惑に  
負けそうになる。

義姉さん、  
本当に良いの？

良いのよ、  
悪いのはあたし  
だけ…よ

義姉さん…

そこまで言われたら  
もう覚悟を決める  
しか無い。





義姉さんの部屋に行きお互い服を脱ぐ。  
長いキスをしながら初体験の夜を  
思い出していた。

あのかきはお互い初めてで俺は  
欲望に支配されてちっとも優しく  
出来ず義姉さんを犯しまくった。  
きつと痛かったはずなのに  
義姉さんは俺を受け入れてくれた。

その反省で身体が少し弱い明莉には  
極力優しくしてきた。



うふふ、  
久し振りのオチンポ♡

おは♡♡

もうすっかり  
カチンカチンね

うおおっ

たのふっ♡♡

くいゅっ♡





昔より大きく  
なったんじゃない？

そ、そうかな…？

ああ、素敵い…

もうこんなにビクビク  
してすぐに爆発しそう…

ね、義姉さんの  
おっぱいが気持ち  
いいから…っ！

あは…♡

ん♡

ピクッ

ピクッ

うふふ、嬉しい…







明莉とは  
こういう事して  
ないの？

う、うん。  
明莉とはノーマル  
プレイしか  
してないよ…ッ！

ふうん…



それっ♡

うおおおおっ！  
そんなにしたら  
っっっ！

すりすり

はぁ♡  
あ♡♡

ぬっ♡  
ちっ♡  
ちっ♡

ぬっ♡  
ぬっ♡  
ぬっ♡

そんなに喜ばれ  
ちゃうとお姉さん  
頑張っちゃうわ

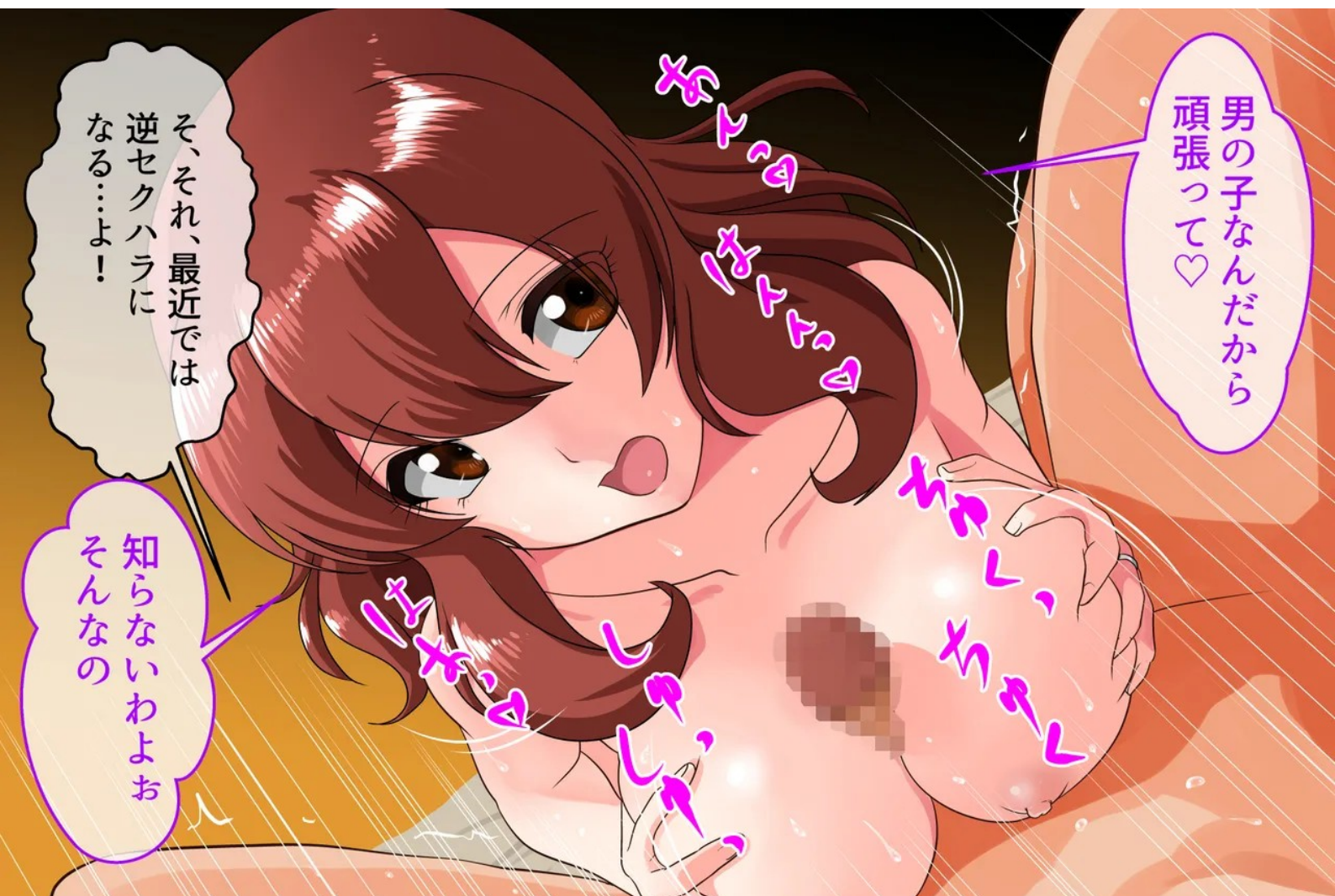




男の子なんだから  
頑張っ♡て♡

そ、それ、最近では  
逆セクハラに  
なる…よ！

知らないわよお  
そんなの









おおおおお  
おおっっっ

ああんっ





はあっ、はあっ、  
はあっ、はあっ、  
はあっ、はあっ、

ああ…スゴイ  
あっうい…♡



いっぱい出たね…  
あなたの精子の臭い  
大好きよ…♡

義姉さん…

まだまだ硬いね。  
今度はあたしを  
気持ち良くして…



義姉さんいいの？  
このままで

背中を向けて  
そう言う義姉さんは  
少し悲しげに見えた。

入れるよ…

良いのよ、  
大丈夫な日だし2年も  
子供出来なかったしね…

うん、来て…

ん…♡

ん…♡♡

ドキ

ドキ

♡

♡

ドキ  
ドキ

♡

ドキ  
ドキ

♡





義姉さんの  
相変わらずすごい  
締まるッ

あ♡  
ち♡  
ち♡

いい、  
このオチンチン  
やっぱいいい…♡

ズチッ…

ズググ…

ピクッ

ピクッ

あ、あああ…

ああん、嬉しい…

ブルッ





動くよ…  
義姉さん…

きてえ、  
久し振りだから  
最初はゆっくりね…



義姉さん…

義姉さんの膣から  
愛液がどんだんあふれてきて  
湿った音と共に滑りが  
良くなってくる。

いいよ、  
もつと激しくして…♡

あああ…いい…♡  
この感じ久し振りい…







アッ♡  
アッ♡  
アッ♡

あはんっ、きてっ、  
もっとうっっ！

アッ♡

ビッ

ビッ♡

シッ  
シッ  
シッ  
シッ

じゅぽ、  
じゅぽ、  
じゅぽ、

バン

あんっ、あんっ、  
あんなっ♡

じゅぽ、  
じゅぽ、





すっぐすっぐ  
いいいいっ!

はっ♡はっ♡  
あぁ♡♡♡

あぁっ!  
いいっ! これっ!

ひあっつっ!?



義姉さんっ、  
おれ、もうつつっ！

イクのっ？  
義姉のマンコで  
イクのつつっ？

はんっ♡♡♡  
アッ♡♡♡

いいよっ、  
あたしも、  
イクツツツツ







ううううう

プルプル

ああスゴイ、  
義弟チンポに中出し  
されてイッてるの…♡

ガクンッ  
ガクンッ  
ビクッ  
ビクッ

ピクッ  
ピクッ

はぁはぁ♡  
んっ♡  
あ…♡

アハハ♡  
アハハ♡  
アハハ♡

この後さらに3回  
中出しセックスをした。





うふふ、  
久し振りのセックス  
すごく良かったわ♡

義姉さんは合計4回目の  
セックスが終わった後  
お掃除フェラをしながら  
満足そうに微笑んでいる。



明莉は幸せ者ね、  
こんな素敵なオチンポに  
愛されているんだもの

チンチンだけで  
愛しているわけ  
じゃ無いんだけど

うふふ、言葉のあやよ

うふふ



あ...

まだこのオチンポ  
満足していないみたいね...

うん、  
もう一回くらい  
したいな

昔も凄かったけどさらに  
絶倫になったんじゃない？  
まるでハーレム系  
エロ漫画の主人公みたいね

何でそんなの  
知ってるの？

あん♡

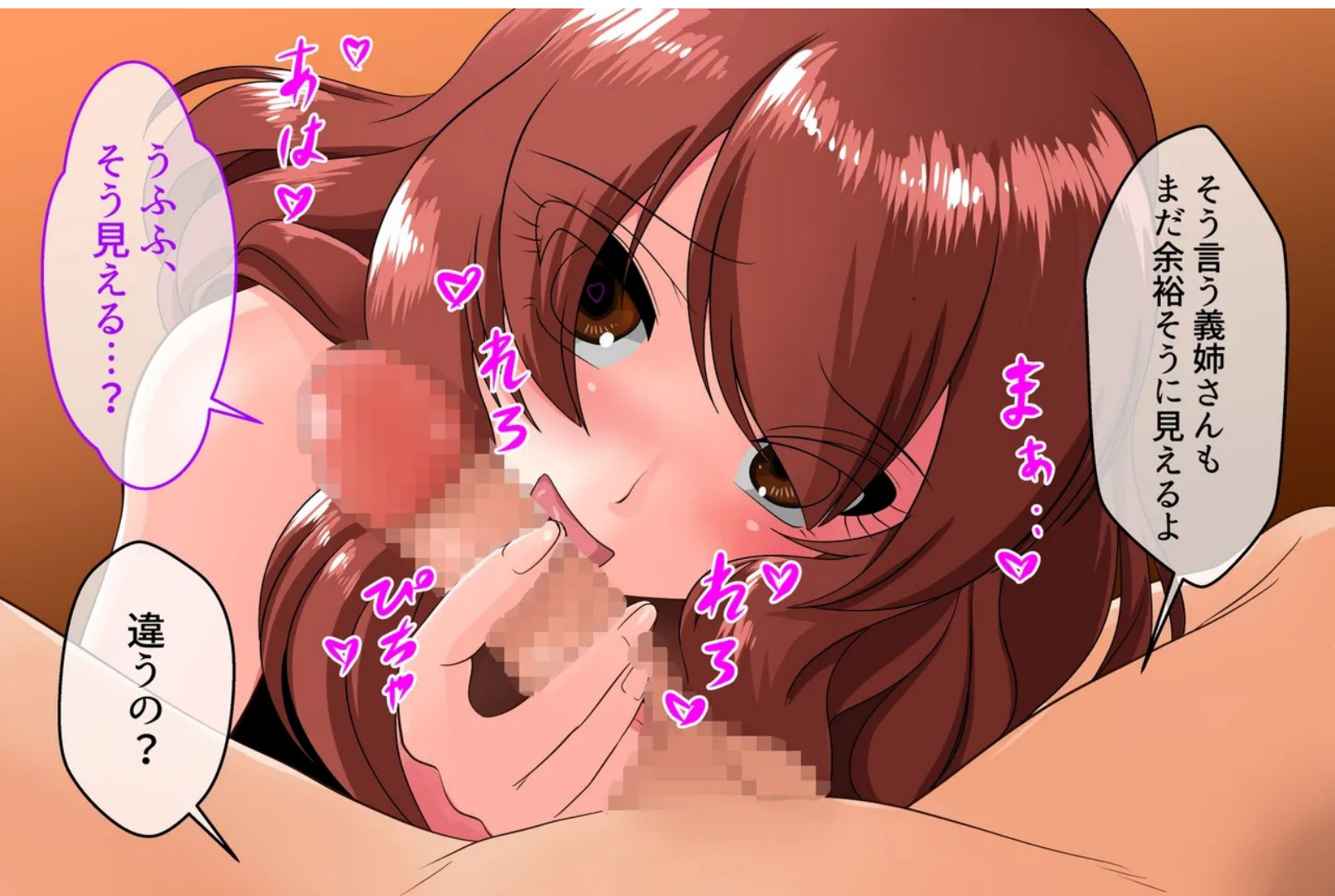
703

♡ちゅ♡♡

703♡

♡ん♡♡♡♡





そう言う義姉さんも  
まだ余裕そうに見えるよ

まあ…♡

れろ♡  
れろ♡

れろ♡

ぴゅ♡  
ぴゅ♡

あは♡  
あは♡

うふふ、  
そう見える…？

違うの？



ねえ…このオチンチン、  
明莉のお尻に入れた  
事ある…？

♡はあ…

え、いや無いけど…  
さつきも言つたけど  
明莉とはノーマル  
プレイだけだし…

♡ん…♡

♡ぽろ♡

♡ふん…♡

♡ぽろ♡

そうなんだ、あたしには  
がつついてきたのに  
明莉は大切にしてるのね

でも義姉さんを  
大切にしてい  
ないわけじゃ…



うふ♡  
わかってるわよ

ん...♡

ねえ、あたしのお尻でしない？

えっ♡

脅かさないでよ...

良いけど、旦那さんとは...

してないわよ、君としかした事ないわ...

ぴん...

義姉さん...





ん、ああああん…  
お尻裂けちゃいそう…

義姉さん、ずっと  
してなかったんでしょ？  
無理しない方が…

良いのよ、  
この感じが良いの…

ん…







あ…ッ♡  
はぁんっ、大丈夫よ。  
この感じ久し振りに…

義姉さん、  
無理しちゃダメだよ…

優しいのね…  
嬉しい、ホントに  
大丈夫だから…

あ…ッ♡  
あ…ッ♡







あん…あん…  
ん…ん…

うんふうつ、  
ああつ

義姉さん、  
すごくいいよつ

嬉しい…んん…  
あたしも、いいっ♡



ああんつつつ、  
かあつつつあつ

お尻イイ、  
イイのっ！

くんんんつつつ、  
んんっ！

じゃぼ  
じゃぼ  
じゃぼ

ぐぐぐ  
ぐぐぐ

えっ...





たまらず下から  
突き上げる。

ひいひいひいっ！  
らめっ！  
いいいいっ！

義姉さん、ゴメン！  
俺動きたいよっ！

いいよっつ、  
いっしょに気持ち  
良くなるっつ











おおおおおっ！





しゅごいっ!  
お尻の中がザーメン  
いっぱいになってくっくっく!

と、  
止まらないっ!!



ああ...  
まだドクンドクン  
いってる...

素敵...♡





はあはあはあはあ

はあ、はあ、  
す、凄かったわ…

すげー気持ち良かった。  
こんなにアナルセックスって  
気持ち良かったっけ…？

あたしもすごく良かったわ、  
久し振りだったからかしらね…



まだ硬いわね、  
このまままたする？  
あたしは良いわよ♡

それじゃあ  
もう一回このまま  
アナルで

うふふ、おて...♡





有り難う、良かったわ。  
こんなにしたの久し振り

うふ♡

ん...♡

俺もこんなに  
満足したの久し  
振りだよ

ごめんね、  
あたしにこんなに  
付き合わせて

もういいって、  
明莉には悪いけど…

ん…

お…

…ねえ、あたしと  
セフレにならない？

え？  
セフレ…？





そう、浮気でも  
不倫でも無く、  
エッチ友達に

義姉さん…

それなら明莉に  
気兼ねする事も  
無いわよ

うふ♡

そういうことなら…

どうも釈然としないが  
俺の性欲のせいで明莉が  
苦労しているのを思うと  
これも解決方法としては  
アリかと思った。

それとあたし  
なるべく早めに  
出ていくわ

義姉さん、  
別にここにいてくれ  
ても良いんだけど

そうも行かないわよ。  
旦那ともキツチリけりつけて  
実家に帰るかどこかに  
住むところ見つけるわ

もっ...♡

ん...





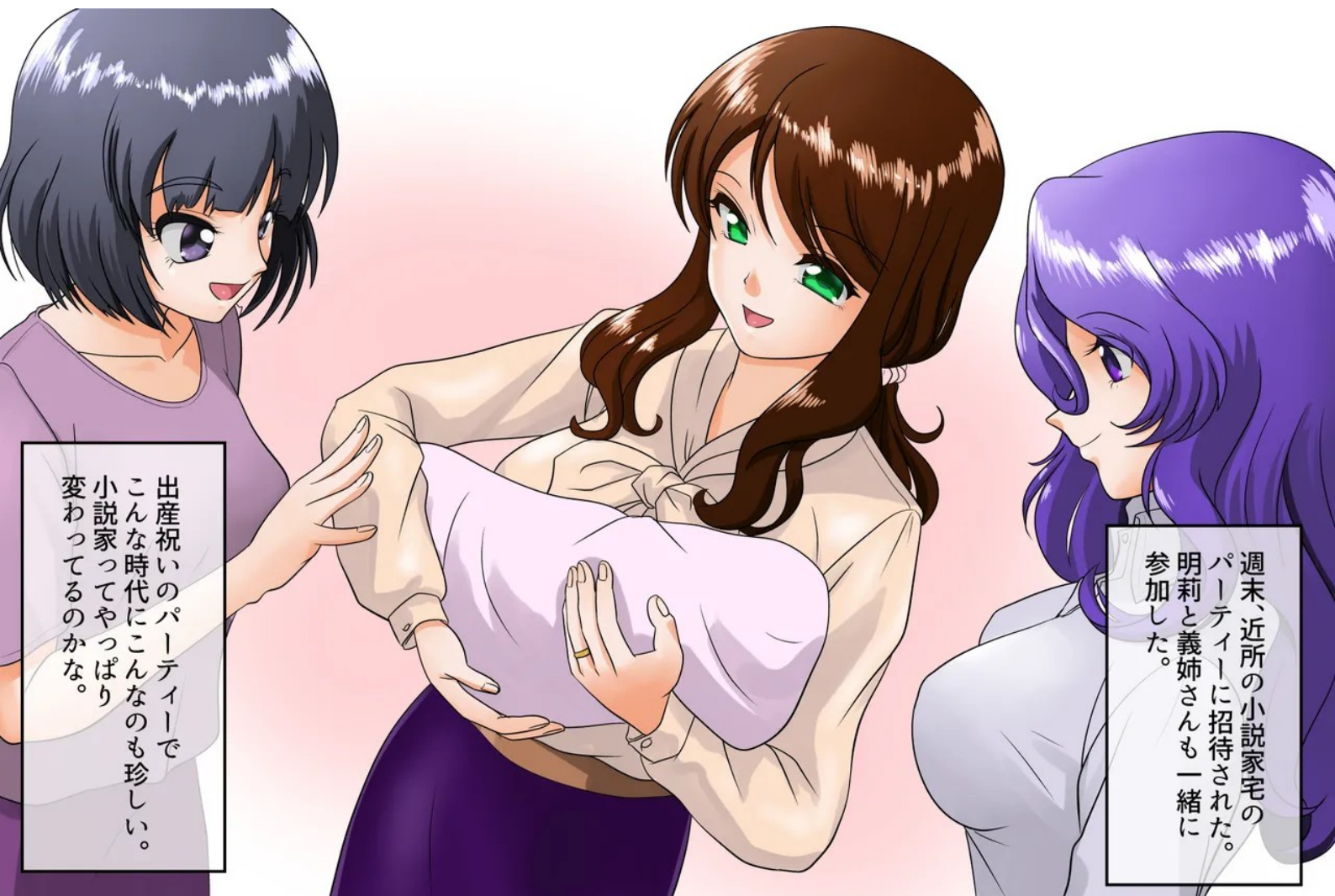
明莉の事、お願いね…

義姉さん…

ね…

ん…

俺はなにかモヤモヤとした  
気分を引きずりながら  
シャワーを浴びて  
明莉のもとへ戻った。



出産祝いのパーティーで  
こんな時代にこんなのも珍しい。  
小説家ってやつぱり  
変わってるのかな。

週末、近所の小説家宅の  
パーティーに招待された。  
明莉と義姉さんも一緒に  
参加した。





「可愛いよね赤ちゃん」

「ああそうだな、俺たちも頑張ろうな」

「うん」

「あの両脇の人が例の両隣宅の奥さん？」

「そう、旦那さんも含め4人とも仲よさそうだ」

「ふうん…」

「義姉さん何か気になるの？」



義姉さんがこっそりと耳打ちしてくる。

「旦那さん、両脇のふたりとも

エッチしてるわね」

「あ、やっぱり」

「え、マジ?!」

「多分ね」

「そんなだとギスギスしそうだけど

仲よさそうに見えるな…」

「何があつたのかは分からないけど

あの4人そういつたこと分かっていきそう」

「旦那さんをシェアしてるみたいなの？」

「そう、そんな感じ」

不思議な人間関係もあるもんだな…



その夜、明莉と子作り。

明莉はいつも以上に積極的に迫ってきた。  
パーティーで赤ちゃんを見て  
子供が欲しいという気持ち  
がより増したんだろうか。

と思っただが…

明莉が積極的にフェラチオをしてきた。  
こんな事は初めてだ。  
AVやエロ漫画なんかじゃ  
当たり前のフェラだが  
現実にはかなりの変態プレイ、  
明莉には極力ノーマルで  
いるように心掛けてきたのだが…。

あ、明莉…？

んん、うん…

ちゅぷ、  
くちゅ





慣れてない感じの  
初々しいフェラチオ。  
興奮してきて俺の息子は  
ビンビンに硬度を増す。

うふ、もうこんな  
に硬くなった♡

明莉良いのか？  
フェラなんて  
初めてだろう？

ふふ…♡

あ…♡

ん…♡

フェラ嫌い？

いや  
好きだけどさ…





私だっけずっと  
こうしたかった  
んだよ...

明莉...

ん...  
あ...  
ん...

は...  
ん...

お姉ちゃんには敵わない  
かも知れないけど私だっけ  
お兄ちゃんともっと  
エッチな事したいんだよ...





んむっ、うんっ、  
むちゅっ

ちゅっ  
ふっ

くちゅ

んっ

んっ

ぐっ  
ぽっ

じゃっ  
ぽっ

いいぞっ、  
明莉ッ、うおっ

おいひい、  
おいひい、  
おにひゃんのおひんひん  
おいひいっ♡



イカン、このままじゃ  
明莉の口の中に出してしまう。  
子作りなんだから  
ちゃんと明莉の膣に  
出さなければ。

明莉っ、  
もういいよっ

んっ、んっ、  
んっ、んっ、  
んっ、

うおっ、  
ううっ、うっ

んん？

いゅぽっ  
いゅぽっ

ちゅ

くちゅ

いゅぽっ



…気持ち良くなかった…？

いや、凄く気持ち良いよ、でも明莉の膣でイきたいんだ

ん…

はぁ…

ん…♡

…うん…

少し残念そうに見えるのは気のせいだろうか。



あ♡♡  
んはああつ…  
入ってくるう…

ああん…  
奥に届いたあ…♡

ああ、分かるぞ、  
明莉の奥に当たって  
るのが分かるぞ

ああ…ん

明莉と騎乗位  
なんて珍しいな…

んはっ♡

あん♡♡

ぢゅ…

じゅふふ…





明莉、今日は  
すごいな…

旦那さんを気持ち  
良くするのも奥さん  
のお仕事だもん…

大好きだよ明莉

嬉しい、  
私も大好きだよ  
お兄ちゃん…

そう言うと  
明莉の膣がいつそう  
締まってくる。

ん…  
ドキ

ん…  
ドキ

ドキ  
キュウッ

キュウッ

キュウッ

明莉は腰をグリグリと動かして奥に当たる肉棒を味わっていた。

ん、はぁあんっ……！  
んんん、いいん……っ！

ああんっ、  
あんっ！

はぁぁぁ  
…んんっ、

んんっ♡

んんっ♡

んんっ♡

クネ  
クネ  
クネ

クネッ  
じゅ





俺もそろそろ反撃する。  
下から明莉を突き上げる。

あん、やあ…っ

イヤならやめるか？

意地悪しないでえ、  
イイよお、もつとしてえ…っ

いくぞ明莉

きてえ、  
お兄ちやあん♡

アッ♡  
おあッ♡

ズッ

ズ  
チユッ  
バチ

バチ



あつダメッ  
そんなつ  
すごつつつ、いっつ!

ズ  
グ  
グ

バ  
チ  
エ  
ッ

ズ  
グ  
グ

あんんんっあっ!  
あんっ!  
いっ、あつ、いっ!

ん  
っ  
っ

ア  
ッ  
っ

ア  
ッ  
っ





イクの?  
来てっ!  
あたしもイクッ!

アッ♡♡♡

ん♡♡♡

アッ♡♡♡

明莉ッ  
もうすぐ出すぞっ!

くっくっくっ

グッ  
ズッ  
グッ  
グッ

ズッ  
グッ  
グッ  
グッ



あああああ  
ああっっっ

ア  
ッ  
ッ  
ッ

ア  
ッ  
ッ  
ッ

オオオオオオ  
オオオオオオ  
オオオオオ

ド  
ン  
ッ  
ッ  
ッ

ド  
ン  
ッ  
ッ  
ッ

ド  
ン  
ッ  
ッ





あああああつ、  
まだ出てるっ、  
いいっ

ブルッ

アッ  
♡アッ  
♡

トッ  
♡トッ  
♡

うおおおおっ  
止まらんっ！

トッ  
エッ  
トッ  
エッ

トッ  
ル  
ル  
ル



あ...♡

はあはあ  
はあはあ

あ...♡

いっぱい出たね...

くちゅ

ちゅ...ふ...

気持ち良かったよ

私も気持ち良かった...





お兄ちゃんのまだ硬いね

おん♡

ん♡♡

キム♡

うふ♡

キム♡

もう、お兄ちゃんの  
えっちい……♡

悪いもつと明莉と  
セックスしたい

ダメか？



いいよ、  
私も頑張るから...

無理するなよ

はぁ♡

ん♡♡

うん...♡

ドキ♡  
ドキ♡  
ドキ♡

ドキ♡  
ドキ♡  
ドキ♡

この夜はもう2回明莉とセックスした。そこで明莉はギブアップ。義姉さんとしていたお陰であまり悶々とした気分は残らなかった。



あなた、  
ちよつと大事な  
お話があります

夕食後くつろいでいると  
明莉が真剣な顔で聞いてきた。  
何かあったのかな。

その、  
お姉ちゃんと  
したでしょ？

え？

だからお姉ちゃんと  
セックスしたでしょ？

ヤバイ、ばれてた…  
明莉に隠し事なんて  
出来ないって  
昔から知ってたのに…



ゴメン、  
義姉さんが尋ねて  
きた晩に…

ん…

…

明莉を傷つけてしまった…  
目先の欲に負けた俺が悪い。  
素直に非を認めて謝って  
どんな償いでもするしかない。  
考えたくないが最悪の事も考えた。

ほんとにゴメン、  
どんな罰でも  
受けるよ…



くす、

だってさ、  
お姉ちゃん

あら...♡

...え？





義姉さん?!

あたしの言った  
とおりでしょ?

うん:

もっ...



昔からそうよね。  
私たちが何かしても  
いつもかばってくれたし…

うふっ♡

もう♡♡♡♡♡

あたしが悪いのに  
コイツったら全部自分に非が  
あるみたいに言うんだから

そうだったか？  
そうだったかも…  
そりゃあ好きな女の子を  
守るのは当然だと思ってるし…





ん…

それなんだけど、  
私は…

ねえ…

ほんとにあたしが悪いの。  
あたしはすぐ出て行くから  
コイツの事は許してあげて



明莉!?

えいど...

おい...?

お姉ちゃんとなら、  
良いかなって思ってるんだ

!?





明莉…

!

お姉ちゃんあんなに  
結婚急いだの  
お兄ちゃんを私に  
譲るってのも  
あったんでしょ？

そう…

お姉ちゃんまだ  
お兄ちゃんの事  
好きでしょ？

ふううう

お見通しだったの、  
明莉には敵わないわね…

お姉ちゃんもお兄ちゃんも  
私に遠慮すぎるの

んもう…

そりやずつと好きだった  
お兄ちゃんと結婚できたのは  
嬉しいけど、私お姉ちゃんの  
事も好きなんだから  
お姉ちゃんも私に遠慮せずに  
その、お兄ちゃんと  
愛し合って良いんだよ

ね♡

もう…





あなた幸せ者よ、  
こんな良いお嫁さん  
もらえたんだから

良いのよもう。  
これからは  
3人一緒にね

もう...

ねえ...

お兄ちゃんだって  
私たちどっちか選べって  
言われても出来ないしね

明莉、ゴメン。  
優柔不断で...



おやおや、  
またひとつ男らしく  
なったかしら

おっ♡

分かった！  
もうふたりまとめて  
愛してやる！

あはは♡

うふふ、  
昔とはちよつと  
違うけどまたみんな  
で仲良くしよ



というわけで



ええと  
これはどういう…

ふたりまとめて  
愛してくれるんでしょ？

そうそう、  
それにこういうのも  
したかったんでしょ？

あは♡

ん♡

そりゃあ、  
考えた事はあったけど  
まさかほんとに  
出来るとは…

ふふ♡

うふふ♡





ああ...お兄ちゃんの  
オチンチン美味しい...

好きな人の  
オチンチン舐める  
のって素敵でしょ♡

うん、幸せ...♡

れろ  
れろ

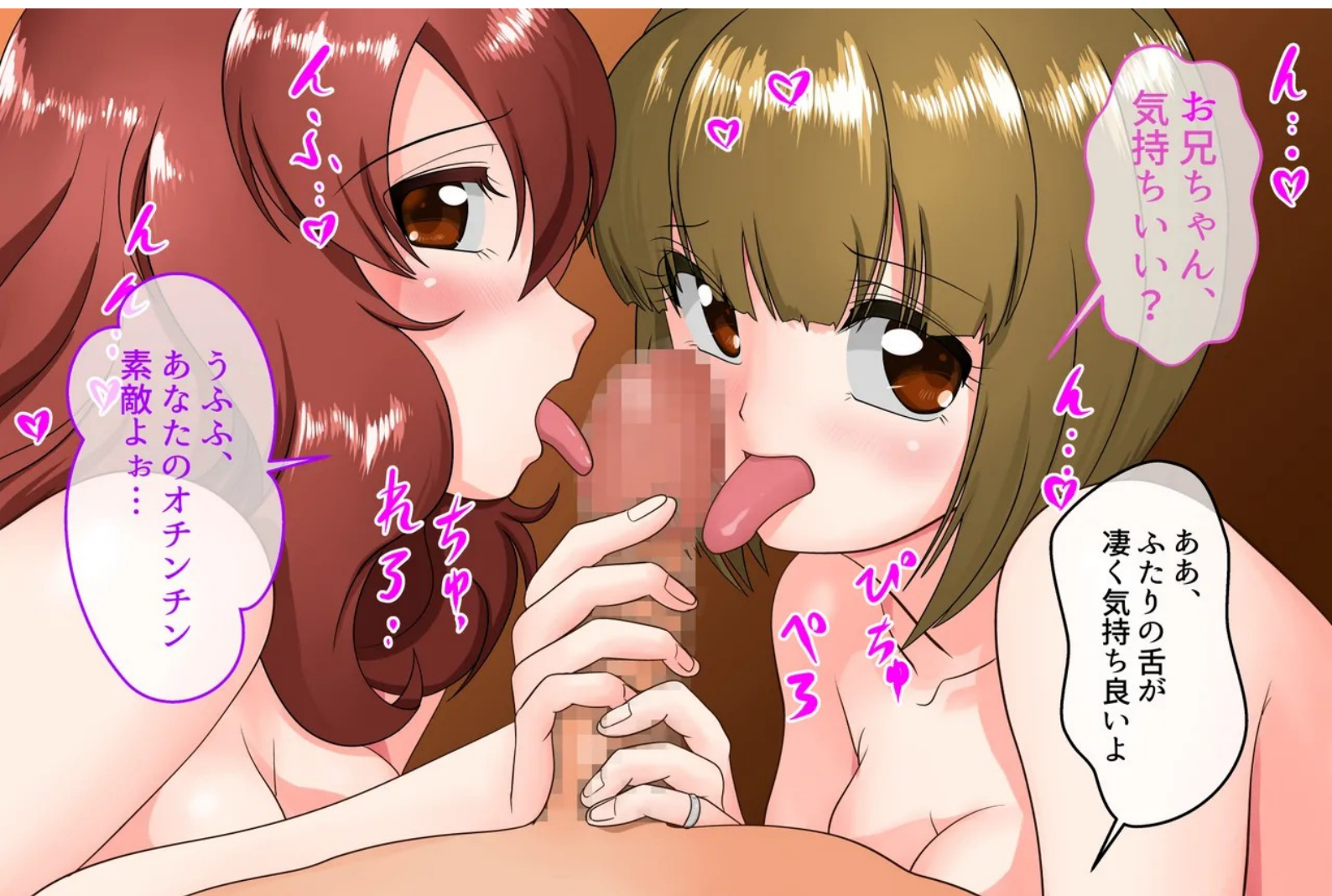
へろ  
へろ

ん...♡

ん...♡

♡

ん...♡



お兄ちゃん、  
気持ちいい？

ああ、  
ふたりの舌が  
凄く気持ちいいよ

うふふ、  
あなたのオチンチン  
素敵なお...

ちゅ！  
れろ！

ぴちゅ  
ぽろ

んふ...♡

♡♡

ん...♡

ん...♡

ん...♡





れろ、ちゅ、  
んん、はあ……  
♡

はあ  
♡

んっ  
♡

んん  
♡

び  
ちゅ  
♡

ちゅ  
♡

♡

♡

ちゅ  
♡

ん  
♡  
ん  
♡  
ん  
♡

んむ、ちゅ、うくん  
ううん、うん、うん……  
♡

ん  
♡



そろそろヤバイ、  
出そうだよ

お兄ちゃん出るの？

んん♡

ん♡

ぴちゅ  
ぴちゅ

はぁん♡

んん♡

へろへろ

良いわよ、  
このまま出して…

でも…っ

んふ♡

遠慮しないで  
お兄ちゃん…♡







はあはあ…

ああ…  
お兄ちゃんの  
せーえき…  
あつうい…

あふ…♡

♡

♡

ん♡  
ん♡

ん♡  
ん♡

はあ…♡

すごい臭い…  
たまらないわ…

ああ…♡  
♡





好きな人の精液って  
美味しく感じるのよ...

これがお兄ちゃんの  
精液い、美味しいい...

ああ...

あん♡

はあん♡

ぴちゃ  
ぴちゃ

ん♡

へろ  
へろ

明莉...?

明莉良いのか?  
こんなその、  
変態プレイ...

ん♡



♡ お兄ちゃん、私だっでこういう事したいんだよ...？

♡ あん...♡

♡ お兄ちゃんにめちやくちゃんにされたいってずつと想ってたんだから...

♡ ん...♡

♡ もう、お兄ちゃんにだけだよ...♡

♡ うふふ、淫乱なのはあたしに似たのかしら？

♡ ん...♡

♡ あたしだっでそうよ♡

♡ うふ♡





ええ♡

さあ、  
明莉に入れてあげて

あん♡♡

お姉ちゃんから  
してあげて

ブリッ♡

トロ...♡

うーん、  
どうしたモノか...



どっちも一理あるが  
明莉から、  
俺の一番は明莉だから

でもお姉ちゃん  
ずっと我慢してたんでしょ

お兄ちゃん……♡

うふふ、  
妬けちゃうわね

明莉が奥さん  
なんだから明莉からよ

もっ……♡

え……





おお...♡

ああ、  
明莉幸せそう...

うん、いますごく幸せっ！  
大好きなお兄ちゃんとお姉ちゃんと一緒なの♡

あたしも凄く幸せよ...

あああんっっ

あ♡♡

ビクッ♡

スチュッ♡

スチュッ♡







ああああっっ、いいのっ!!  
お兄ちゃんのおチンチンが  
奥まで突いてくるのっ!!

いいっ、もっつとおっ!  
犯してお兄ちゃああんっ!!

すぐくエツチよ明莉…

いくぞ明莉っ



いいわよイキなさい!  
お姉ちゃんに明莉が  
大好きな人のオチンチンで  
イクところ見せてっ!

あひつつ、あつつ!  
もうっつい、いっっちゃうつつ!

俺も、  
でるつつっ!

グ  
チュ  
グ  
チュ

グ  
チュ  
グ  
チュ

グ  
チュ  
グ  
チュ

あ  
あ  
あ  
あ

ア  
ア  
ア  
ア

ア  
ア  
ア  
ア

ヒ  
ヒ  
ヒ  
ヒ







俺も良かったよ明莉...

おにいちやあん...  
気持ち良かったあ...

嬉しい...♡

はあ

はあ♡

ハア...♡

ピクッ

ピクッ

ドロォ...







ああ、もちろんだ。  
いくよ義姉さん

...うん、きて...

さあお兄ちゃん、  
今度はお姉ちゃんに  
上げて...

だき  
だき

ちゅ  
く...

す...♡

♡♡





動くよ義姉さん…

うん、きてえ…、  
オマンコかき回してえ…

ああんっっ♡

ピクッ  
ピクッ

ズ  
ズ  
ズ



いいよおつ、  
このオチンチン  
いいよっ♡

はああああ…んんっ、  
んふうう…  
ああん、あああつ

お姉ちゃんの  
感じている顔素敵…

おあ…♡





ああ♡♡

ああんんんんっ  
ふあうううんっ

あ♡♡♡

あっっっ、あんんんっ

ハチエツ

ああ♡  
お姉ちゃんの身体が  
熱くなってる…

ズズ



お兄ちゃん、  
お姉ちゃんの中に  
出してあげてっ!

あひつ、あつつつつ、ダメツツツツ  
もういつつつちや、うつつつ!!!

いくよっ!  
出すよ義姉さんっつ!

きてっ!  
ちようだいっ!  
おとうとザーメン  
中にちようだいっつつ!





あああああ  
あああ  
つつつつ

おおおおお  
おおおおお  
おおおおお



お姉ちゃんも  
幸せそう…

はぁん…  
あぁん…♡♡♡

ハァハァ♡♡

あああ…  
中にいっぱい  
満たされてるの…

義姉さん、  
気持ち良いよ…

あんっ、  
幸せよ…  
幸せすぎて壊れ  
ちゃいそう…





この夜はふたりにもう  
3回ずつ中出しし、  
合計9回射精して俺は果てた。  
こんなに幸せに満ちた夜は  
初めてだった…

ああ、まだまだいけるよ  
次は明莉、いくぞ…

うん、来て…♡

キュン…

あん♡

ああ…♡

うふふ、まだ硬いね…♡

それからしばらくして  
義姉さんは正式に離婚した。  
職場にも近い事もあり、ウチで  
一緒に暮らす事になった。

俺と義姉さんは毎日朝から  
明莉に見送られて仕事に出かけ  
明莉は家事を毎日しっかり  
こなしてくれる。  
みんな一緒に頑張っ  
て行こうと決めた。

そしてほぼ毎週末は…





あん、  
もつとクリトリス  
舐めてえ…♡

おおん♡

プルッ

あああん…♡  
はいつたあ…

3人でエッチしている。  
俺と義姉さんの性欲も  
満たされるし  
明莉の負担も減らせるし  
良い事づくめだ。

グチュ…

ピョ

ピョ

チュ…









いぐっ、いぐっ  
クンニでいっ、  
いくっ、くっ、くっ、くっ、

ひっ、いいいっ  
も、だめっ、だめっ  
いっひやうっ、くっ、くっ、

にゅる  
れろ、

ズズッ  
ズズッ

ズブッ  
ズブッ







あゝ♡

もう、  
お口でイカされ  
ちゃった…♡

はぁ…♡

はぁはぁはぁはぁはぁ…  
気持ち良いい…♡

ああん♡

うふふ、  
次はオチンチンで  
イッてお姉ちゃん

ドロォ…

こんな性活が続いている。  
いつまでも続くと良いな…

おしまい